

# 施策目標個票

(国土交通省2-40)

施策目標	北海道総合開発を推進する	
施策目標の概要及び達成すべき目標	北海道の資源・特性を活かして、その時々々の国の課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図ることを目的としており、「世界の北海道」をキャッチフレーズに、「世界水準の価値創造空間」を形成することをビジョンとして掲げ、「人が輝く地域社会」、「世界に目を向けた産業」、「強靱で持続可能な国土」の3点を計画の目標として、多様な主体の連携・協働によって、効果的に「北海道総合開発計画」を推進する。	
評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ②目標達成 (判断根拠) 業績指標137、138ともに令和2年度データが集計中であり、最新の令和元年度実績値で評価しているところであるが、2つの指標とも目標達成に向けて順調に推移していることから、②目標達成と評価した。
	施策の分析	施策目標の達成手段である北海道開発事業費、北海道開発計画推進等経費、北方領土隣接地域振興等経費等を効果的に活用し、地域ニーズに沿った事業が展開されるよう一層の重点化を図っている。
	次期目標等への反映の方向性	目標年度は毎年度と設定しており、引き続き北海道総合開発計画等に基づく施策を推進することにより、目標達成を目指す。

業績指標	137 北海道総合開発計画の着実な推進(目標に向けた着実な進捗が認められる代表指標の項目数)*	初期値	実績値					評価	目標値
		H28年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		毎年度
		-	3/6	3/6	3/6	4/7	集計中	A	半数以上
	年度ごとの目標値	/	半数以上	半数以上	半数以上	半数以上	半数以上	/	/
業績指標	138 北方領土隣接地域振興指標(一人当たり主要生産額)*	初期値	実績値					評価	目標値
		H25~H29年度の平均	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		毎年度
	3.88百万円/人	4.02百万円/人	3.72百万円/人	3.92百万円/人	4.00百万円/人	集計中	A	3.88百万円/人以上	
	年度ごとの目標値	/	3.79百万円/人	3.79百万円/人	3.88百万円/人	3.88百万円/人	3.88百万円/人	/	/
参考指標	参105 講演会・セミナー等の1開催当たりの参加人数の対前年度伸率	初期値	実績値					評価	目標値
		H24年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		毎年度
	79.1%	312.1%	28.6%	96.6%	122.8%	69.8%	/	100%以上	
	年度ごとの目標値	/	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	/	/

施策の予算額・執行額等【参考】	区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度要求額	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	485,355	562,923	574,798	513,181	/
		補正予算(b)	119,908	131,634	203,680	-	/
		前年度繰越等(c)	99,562	145,828	171,112	-	/
		合計(a+b+c)	704,825	840,385	949,589	513,181	/
	執行額(百万円)	556,741	671,660	/	/	/	
	翌年度繰越額(百万円)	145,828	166,668	/	/	/	
	不用額(百万円)	2,255	2,057	/	/	/	

学識経験を有する者の知見の活用	国土交通省政策評価会(令和3年6月25日開催)
-----------------	-------------------------

担当部局名	北海道局	作成責任者名	参事官 米津 仁司	政策評価実施時期	令和3年8月
-------	------	--------	-----------	----------	--------

**業績指標 137**

北海道総合開発計画の着実な推進（目標に向けた着実な進捗が認められる代表指標の項目数）\*

**評価**

A	目標値：半数以上（毎年度） 実績値：4 / 7（令和元年度） 初期値：－
---	--

**（指標の定義）**

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）で掲げられている3つの目標の進捗を代表的に示すと考えられる代表指標のうち、目標に向けた着実な進捗が認められる指標の項目数。

**（目標設定の考え方・根拠）**

北海道総合開発は、北海道の資源・特性を活かして、その時々々の国の課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図ることを目的としており、平成28年3月に閣議決定された第8期の北海道総合開発計画は、「世界の北海道」をキャッチフレーズに、「世界水準の価値創造空間」を形成することをビジョンとして掲げている。また、計画の目標として、「人が輝く地域社会」、「世界に目を向けた産業」、「強靱で持続可能な国土」の3点を設定している。

計画の進捗状況は、これらの目標の実現に向けて、行動の指針となる数値目標を掲げた代表指標の改善状況で示されると考えられることから、目標に向けた着実な進捗が見られる項目数が、代表指標数の半数以上となることを目標とする。

**（外部要因）**

経済情勢、社会状況の変化

**（他の関係主体）**

関係府省庁、地方公共団体

**（重要政策）**

**【施政方針】**

なし

**【閣議決定】**

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日）

**【閣決（重点）】**

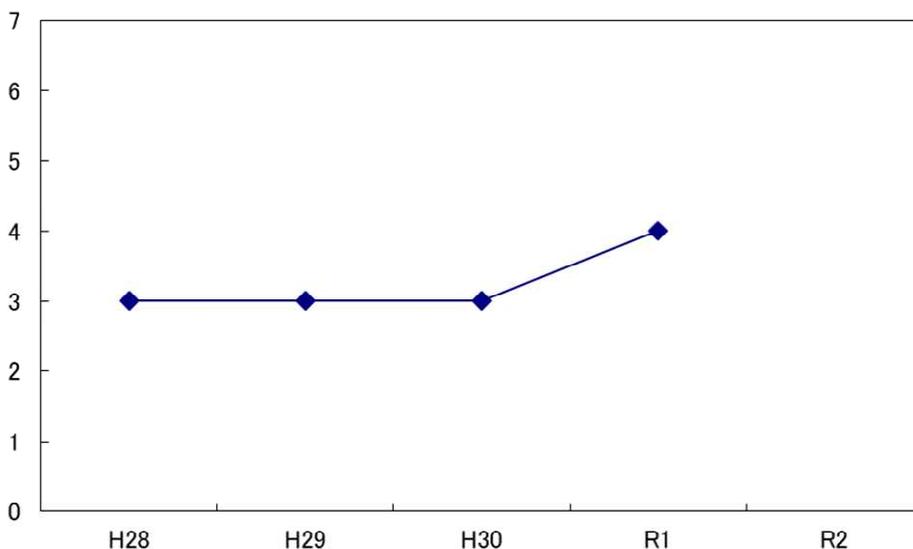
なし

**【その他】**

なし

過去の実績値				(年度)	
H28	H29	H30	R1	R2	
3 / 6	3 / 6	3 / 6	4 / 7	集計中	

**（項目数） 目標に向けた着実な進捗が見られる代表指標の項目数**



## 主な事務事業等の概要

北海道開発法に基づき策定された北海道総合開発計画（現行計画は平成28年3月29日閣議決定）の具体化に資する施策・事業を展開。

当初予算額：北海道開発事業費	6,275.4億円（令和2年度）	6,249.9億円（令和元年度）
北海道開発計画推進等経費	0.5億円（同上）	0.6億円（同上）

## 測定・評価結果

### 目標の達成状況に関する分析

#### （指標の動向）

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）で掲げられている3つの目標の進捗を代表的に示すと考えられる代表指標（7項目）について進捗状況を確認したところ、代表指標のうち、4項目で進展が見られ、同指標全体としての進捗状況はおおむね順調であると判断される。

#### （事務事業等の実施状況）

計画目標 「人が輝く地域社会」、「世界に目を向けた産業」、「強靱で持続可能な国土」

①来道外国人旅行者数【基準値：190万人（平成27年）、目標値：500万人（令和2年）】

・当該年度の指標は、目標達成に向けたトレンドを下回っている。

（令和元年トレンド：438万人 → 令和元年実績値：301万人）

②外国人宿泊客延数の地方部割合（地域平準）【基準値：27.4%（平成27年）、目標値：36%（令和2年）】

・当該年度の指標は、目標達成に向けたトレンドを下回っている。

（令和元年トレンド：34.3% → 令和元年実績値：27.1%）

③客室稼働率の季節較差（季節平準）【基準値1.72倍（平成27年）、目標値：1.4倍（令和2年）】

・当該年度の指標は、目標達成に向けたトレンドを上回っている。

（令和元年トレンド：1.46倍 → 令和元年実績値：1.42倍）

④農業産出額【基準値：11,110億円（平成26年）、目標値：12,000億円（令和7年）】

・当該年度の指標は、目標達成に向けたトレンドを上回っている。

（令和元年トレンド：11,515億円 → 令和元年実績値：12,558億円）

⑤食料品製造業出荷額【基準値：19,846億円（平成26年）、目標値：22,000億円（令和7年）】

・当該年度の指標は、目標達成に向けたトレンドを上回っている。

（令和元年トレンド：20,826億円 → 令和元年実績値：22,091億円）

⑥道産食品輸出額【基準値：663億円（平成26年）、目標値：1,500億円（令和7年）】

・当該年度の指標は、目標達成に向けたトレンドを下回っている。

（令和元年トレンド：1,043億円 → 令和元年実績値：664億円）

⑦防災体制を強化し、住民の意識向上に取り組んだ市町村の割合

【基準値：28%（平成26年度）、目標値：100%（令和2年度）】

・当該年度の指標は、目標達成に向けたトレンドを上回っている。

（令和元年度トレンド：88% → 令和元年度実績値：95%）

#### 【代表指標の出典】

①来道外国人旅行者数：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」

②外国人宿泊客延数の地方部割合（地域平準）：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」

③客室稼働率の季節較差（季節平準）：観光庁「宿泊旅行統計調査」

④農業産出額：農林水産省「生産農業所得統計」

⑤食料品製造業出荷額：北海道「工業統計調査」

⑥道産食品輸出額：北海道「北海道食の輸出拡大戦略推進状況報告書」

⑦防災体制を強化し、住民の意識向上に取り組んだ市町村の割合：北海道開発局調べ

なお、令和2年度に実施した政策レビュー「北海道総合開発計画の中間点検」において、目標の達成状況等を確認するために設定したモニタリング指標等の変化を把握したところ、264指標（全272指標から経年比較に馴染まない指標を除く）のうち、上昇した（望ましい方向へ変化した）ものは134指標（51%）、下降した（望ましくない方向に変化した）ものは30指標（11%）、変化がなかったものは100指標（38%）であったことから、各種施策により第8期北海道総合開発計画全体として一定の進捗・成果が得られている。

### 課題の特定と今後の取組みの方向性

第8期北海道総合開発計画で掲げられている3つの目標の進捗を代表的に示すと考えられる代表指標について、令和元年度の進捗状況を確認したところ、設定した7項目の代表指標のうち、4項目が目標達成に向けたトレンドを上回っており、北海道総合開発計画の相当程度の進捗が見られることからAと評価した。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症による影響を注視する必要がある。

今後の取組みの方向性としては、第8期北海道総合開発計画に基づき、北海道開発をめぐる情勢の変化を踏まえ、北海道の優れた資源・特性を活かし、人口減少・高齢化の急速な進展、世界人口増加に伴う食料、エネルギー等の需要の増加、大規模災害等の切迫等の国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図る。

## 担当課等（担当課長名等）

担当課：北海道局参事官（参事官 米津 仁司）

関係課：

**業績指標 138**

北方領土隣接地域振興指標（一人当たり主要生産額）\*

**評 価**

A	目標値：初期値以上（毎年度） 実績値：集計中（令和2年度） 4.00 百万円／人（令和元年度） 初期値：3.88 百万円／人（平成25～29年度の平均）
---	---

**（指標の定義）**

一人当たり主要生産額～北方領土隣接地域（根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町）の人口一人当たりの地域の主要産業（農業、漁業、製造業）の生産額。

**（目標設定の考え方・根拠）**

「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」及び「北方領土問題等の解決の促進を図るための基本方針」により、北海道知事が作成する「北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画」に基づき、北方領土隣接地域を安定した地域社会として形成するのに資するために必要な施策を推進している。

本地域の振興及び住民の生活の安定を図るに当たって主要産業の活性化は重要であることから、主要産業の一人当たり生産額の初期値を3.88百万円／人（第7期計画の計画期間（平成25～29年度）における北方領土隣接地域の主要産業の一人当たり生産額の実績値の平均）とし、毎年度これを下回らないことを目標とする。

**（外部要因）**

国内の経済動向の変動、農産物生産量、漁獲量、気候の変動

**（他の関係主体）**

地方公共団体

**（重要政策）**

**【施政方針】**

なし

**【閣議決定】**

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日）

第4章第1節（3）北方領土隣接地域の安定振興

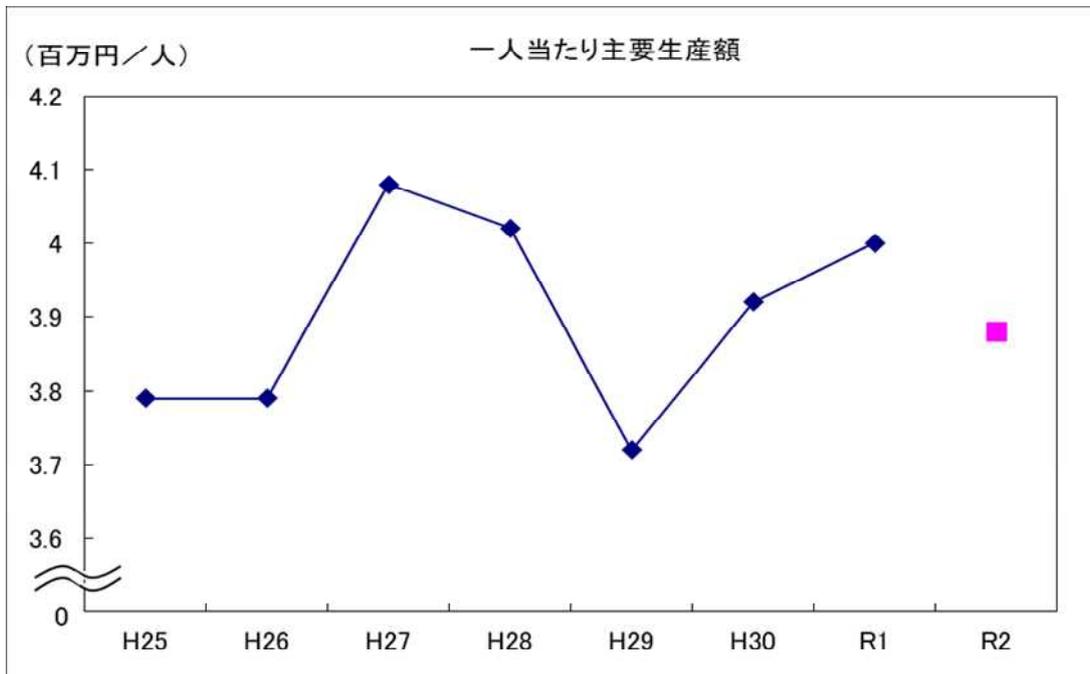
**【閣決（重点）】**

なし

**【その他】**

なし

過去の実績値							(年度)	
H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
3.79 百万円/人	3.79 百万円/人	4.08 百万円/人	4.02 百万円/人	3.72 百万円/人	3.92 百万円/人	4.00 百万円/人	集計中	



### 主な事務事業等の概要

北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定を図るため、同地域の「北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画」（以下、「振興計画」という。）に基づき、隣接地域が実施する、魅力ある地域社会の形成に向けた重点的な取組としてソフト施策に係る事業に要する経費の一部（2分の1以内）を補助する。

予算額：北海道総合開発推進費 北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金 1. 02億円（令和元年度）  
（同上） 1. 02億円（令和2年度）

### 測定・評価結果

#### 目標の達成状況に関する分析

##### （指標の動向）

一人当たり主要生産額について、令和2年度の実績値は集計中であるが、当該年度において魅力ある地域社会の形成に向けた重点的な取組として、活力ある地域経済の展開に向けた取組（農水産物消費拡大推進事業）といった地域の産業振興に資する事業等を4市町（根室市、別海町、中標津町、羅臼町）で実施した。

平成29年度を除き、平成25年度以降、実績値は目標値（平成25～26年度：3.36百万円/人以上、平成27～29年度：3.79百万円/人以上、平成30年度～：3.88百万円/人以上）を上回っている。

##### （事務事業等の実施状況）

平成30年5月に「第8期振興計画（計画期間：平成30年度～令和4年度）」が作成され、第8期振興計画に基づく事業に取り組んでいるところであり、今後も引き続き地域の状況を踏まえつつ、当該施策を実施する必要がある。

#### 課題の特定と今後の取組みの方向性

平成29年度の実績値（3.72百万円/人）は、目標値（3.79百万円/人以上）を下回った。これは、平成28年8月の一連の台風の被害による不漁や主要魚種の不漁等、突発的な外的要因によるものと考えられる。

平成30年度及び令和元年度の実績値は、目標値を上回っている。令和2年度についても、継続して地域の産業振興に資する事業等を実施していること、地域の主要な産業である酪農における飼養乳頭数が増加していることより、目標の達成が推定されることから、A評価としたが、新型コロナウイルス感染症による地域への影響を注視する必要がある。

令和3年度以降についても、北方領土隣接地域の安定振興を図る観点から補助金事業として継続する。

### 担当課等（担当課長名等）

担当課：北海道局参事官（米津 仁司）

関係課：